【草花の部屋】

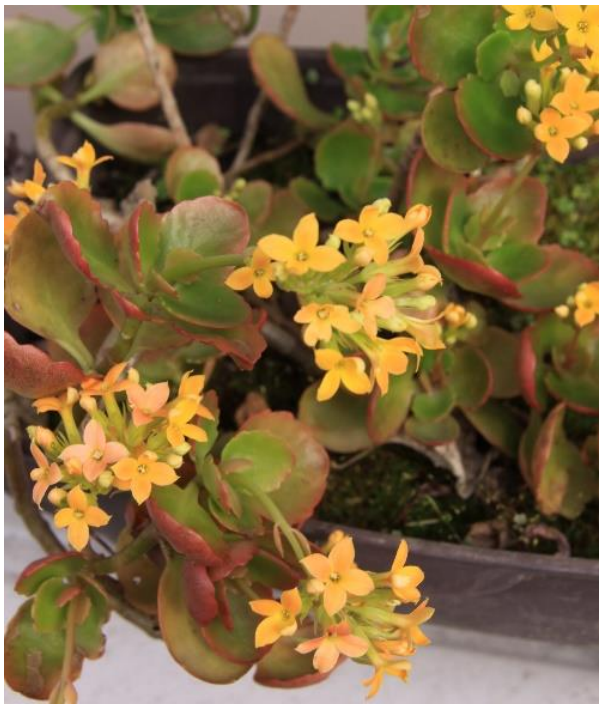
カランコエ（ベンケイソウ科カランコエ属　Kalanchoe ）

和名:リュウキュウベンケイ(琉球弁慶)　別名:ベニベンケイ　英名:Kalanchoe

ユキノシタ目　多年草・多肉植物　　原産地：マダガスカル、東アフリカ

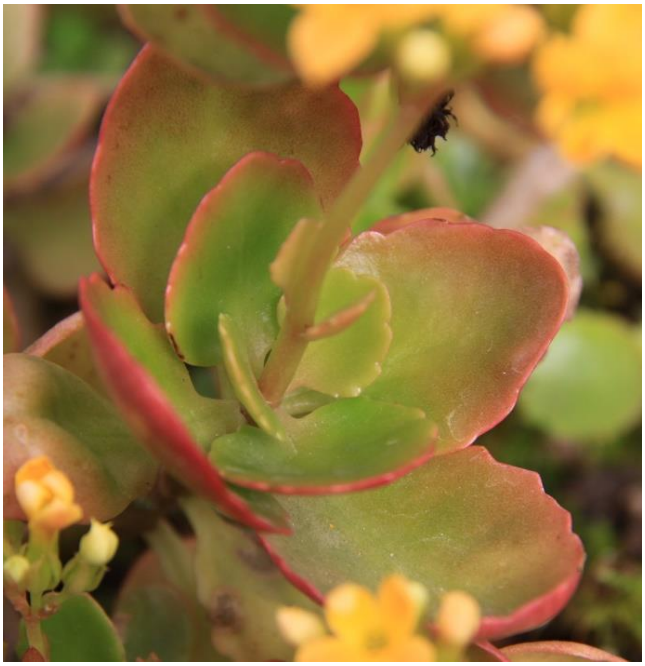
花言葉：幸福を告げる、あなたを守る、おおらかな心　他

花の色：赤、黄、白、橙、桃



← 写真-１　カランコエ
撮影日：2018 年 04 月 01 日
撮影場所：M 邸(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-２　カランコエの花
撮影日：2018 年 04 月 01 日
撮影場所：M 邸(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん



← 写真-３　カランコエの葉
撮影日：2018 年 04 月 01 日
撮影場所：M 邸(大和郡山市)にて
撮影者：M　さん

←↗ 写真-４、５ カランコエ・マンギニー
撮影日：2021 年 04 月 25 日
撮影場所：桜井市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

← 写真-６ カランコエ・マンギニーの葉
撮影日：2021 年 04 月 25 日
撮影場所：桜井市郊外にて
撮影者：Ｍ　さん

カランコエ（Kalanchoe）とは、ベンケイソウ科の１属で、約 125 種類の多肉低木、草本、およびつる植物があるそうです。横に広がる亜低木から高木状になるものもあり、葉も小～大型、光沢のあるものからフェルト状まであるそうです。

主な開花期は１月～5 月。茎先に総状花序を出し、小さな花をたくさんつけます。花弁は４枚。葉は長い楕円形で、向かい合って生え、葉の縁には丸いぎざぎざがあります。

湿気が苦手で乾燥気味を好む植物です。真夏の直射日光は「葉焼け」という植物の日焼け状態になるので要注意です。水は控えめに。水をやりすぎると根腐れ等の原因になります。

夏に新芽の先を摘んでおくとワキから新たに芽が伸びてきて枝数を増やす事ができます。多年草であるカランコエは年を重ねるごとに生長しますが、茎の間延びや葉ばかりが茂って花つきが悪くなることもあります。そのため毎年、もしくは２年に１度、根元から 10 ㎝程度の位置、葉の付け根の 2～3 ㎜のところで切り落とします。思い切って切ることがポイントです。「切り戻し」という剪定です。切り戻し剪定に適している時期は３月～4 月(生長が始まる前の春先)と９月(花が終わって、冬の花の時期の前)。葉挿し、挿し木、株分けで増やすことが出来ます。

＜ちょっと一言＞

＊総状花序：花序の軸に、花柄をもった花が並んで付着して、
総（ふさ）の形になっている花のつき方。